

平成29年度茨城大学人文社会科学部後援会理事会議事メモ

日 時：平成29年6月17日（土） 11時30分～12時30分

場 所：人文社会科学部A棟2階 A208地域連携ディスカッションルーム

出席者：池田会長、佐川副会長、堀理事、安嶋理事、藤田監事、鈴木幹事、石井幹事

欠席者：長岡副会長、田中理事、土田理事、三浦監事

【議事メモ】

1. 総会への提案事項について

会議に先立ち、各構成員の自己紹介がなされた。続いて会議に移り佐川副会長から、午後の総会のスケジュール及び提案内容について、配付資料に基づき説明があった。

総会審議事項は、平成28年度事業・決算報告及び監査報告、後援会会則の改正、平成29年度事業・予算審議、平成29年度役員選出である。

佐川副会長の説明後、出席者から以下の意見等が出された。

- 平成28年度事業・会計について、「平成28年度事業・学生支援一覧」資料で、その他・管理経費等のうち、「学部長裁量経費」と区分名称とされているが、支出内容が保護者等には分かりにくい名称と思料する。例えば、「予備費」等の名称に変更した方が良いのではないか。
- 上記と同様に、「平成29年度事業申請・査定一覧」資料でも、A：保護者との連携事業区分の「学部長裁量経費」も同様に分かりにくい。例えば、「学部予備費」等に変更してはどうか。
- 「平成29年度事業申請・査定一覧」資料で、「予備費」の予算額が多すぎるのではないか。主旨からすれば、「積立金」としたほうが良いのではないか。
- 「平成29年度事業申請・査定一覧」資料で、本来重要な学生支援と思われるB：学生の教育研究活動支援区分の予算額が少ないように思われる。逆に言えば、「予備費」が多すぎる気がする。

これらの意見に対し、佐川副会長から支援事業申請をさらに増やすよう追加募集を行うと共に、各項目の上限について緩和していきたい。また、総会での提案時にそのような説明

を加えたい旨の発言があった。

これらの審議を踏まえ、総会への提案事項は承認された。

2. 平成30年度からの加入手続・会費の徴収方法について

佐川副会長から以下の説明が行われ、了承された。

- ①大学が、平成30年度より「茨城大学助成会」と「学部後援会」の会費を一括徴収することを検討しており、各学部後援会の承認が得られれば実施される予定である。当会発足以来、会費の徴収業務を同窓会事務局にお願いしてきたが、上記大学の方針により、加入率を上げるためにも大学に会費徴収を委託することとしたい。
- ②それにともない、平成30年度より監事等の当会役員の構成を保護者中心に変えていきたい。

以 上

【配付資料】

平成29年度人文社会科学部総会次第および議案